



令和3年度「関係人口創出・拡大のための中間支援組織の提案型モデル事業」成果報告会

地域に根差した住民主体の関係人口創出のスキーム構築  
～地域・行政・中間支援組織の三位一体の推進体制づくり～

にいがた  カレッジ



## イナカレッジラボ、はたらくくらすラボ

目的:都市部在住の地方に興味がある若者との関係性づくり。イナカレッジに参加してもらうきっかけづくり。

内容:地方で何かやりたいと考えている若者に対して、一人ひとりの要望の応じたプログラムづくり・提供や、これからの生き方に悩む若者の進路・人生相談など。

地域に関わる  
きっかけづくり

## おてつだいPLUS

目的:県内に住む若者と地域・農家との関係性づくり。

内容:果樹農家の繁忙期、地域の共同作業やイベント等の単発的なお手伝いを行い、それに対してお金ではないお駄賃を農家・地域から提供。

日帰り型  
プログラム

通い型  
プログラム

市町村  
委託

## ツアー型地域づくりプログラム

目的:地域に興味を持つ人を増やす。地域に共感して一緒に汗を流してくれる担い手を育成する。

内容:都市部に暮らす人々を対象に、地域の課題解決や地域のプロジェクトに関わり、メンバーの一員となって一緒に地域づくりを実践するプログラム。

滞在型  
プログラム

地域  
直払い

## アグリパス

目的:中山間地域の新規就農・農業に関わりを持つ担い手の育成。

内容:【期間】最大2年間／【生活費補助】14.4万円/月／【プログラム】「米づくり」「農村の暮らし」「生業づくり・生業探し」を柱に、半農半X型の農村のライフスタイルを試行実践する就農プログラム。

長期滞在型  
プログラム

令和2年度  
内閣府事業

地域への多様な  
入口づくり

令和3年度  
内閣府事業

県内各地への  
横展開

## 地域実践型インターン

目的:学生の学び・成長×地域の課題解決等を図りつつ、地域に関わる担い手を育成

内容:【期間】1か月／【プログラム】単なる労働力の提供ではなく、それぞれの地域に応じた活動テーマを設定してそれを実行する実践地域づくりインターンシップ。

市町村  
委託

## 地域型1年インターン (H24~29)

目的:中越の農山村の担い手確保・育成

内容:【期間】1年間／【生活費補助】5万円/月／主な対象】社会人(学生)／【プログラム】地域の仕事や暮らしを学び、自分にあったライフスタイルを見つける・創る・実現する。

復興  
基金

# 関係人口・創出・拡大のための対流促進事業【地域に根差した住民主体の関係人口創出のスキーム構築】

地域・団体の掘り起こし

関係人口キックオフセミナー（参加者：130人）

（関係人口の考え方の整理）

ノウハウ等の共有

関係人口プログラム設計ワークショップ（参加者：5地域）

（関係人口プログラムづくり演習／対象：地域関係者・中間支援組織・行政関係者）

（R3年度に関係人口プログラムを実施可能な地域・団体）

（R4年度の実施に向けて準備する地域・団体）

地域と若者の県内学生・若手社会人等とのマッチングイベント

（参加者28人）

関係人口プログラム実践（5地域・団体）

関係人口プログラムの実践を通して、地域団体・集落、中間支援組織、市町村の間で、取組の成果などを共有し、関係人口の連携・推進体制の構築を図る。

実践コーディネート

地域・集落

地域内の話し合い支援

プログラム実施に向けた伴走支援

（5地域・団体）

関係人口の取組の目的やねらい等の整理、地域の実情に合ったプログラム設計、地域の合意形成、受入体制づくりなど

地域と若者の県内学生・若手社会人等とのマッチングイベント等

（10人）

こいがたカレッジ

市町村

中間支援組織

県内学生・若手社会人

- ・オンライン授業の継続、サークル活動の制限、課外授業の自粛などにより、地域活動への学生ニーズの高まり。
- ・コロナ禍にあって、人付き合い・人とのつながりを求める学生の増加。

目指す方向性

住民主体の関係人口の取組を市町村等が支援し、県内の中間支援組織がこれをコーディネート・サポートすることで、県内各地で関係人口の取組が行われる状態を目指す。

# 関係人口キックオフセミナー

## 目的

- 関係人口の取組に興味のある県内の地域（地域組織、地域づくり団体等）、自治体職員、中間支援組織等を対象に、関係人口の基本的な考え方などについて学んでいただく。
- 参加者の中から意欲的な地域団体・集落等を把握・リストアップし、令和3年度と一緒に関係人口創出に取り組む地域団体・集落等を掘り起こす。

日時：令和3年6月4日(金)19:00～21:00

開催方法：オンライン（zoom）

参加申込：118件（実人数約130人）

## タイムスケジュール：

- 19:00～19:05 あいさつ・セミナー説明
- 19:05～19:55 講演「地域の共感者をつくる関係人口の取組」  
講師：小田切徳美氏（明治大学農学部教授）
- 20:00～20:45 事例報告「関係人口が与える地域の前向きな変化」  
出雲崎町 大釜谷集落／柏崎市 矢田集落
- 20:45～21:00 事務連絡等（R3年度の内閣府採択関係人口事業の説明等）



## 【成果・効果】

- KPI：50人→130人（参加申込）
- 「R3年度に関係人口プログラムを実践したい」8 地域
- 「関係人口を実践するために地域内で話し合いを開きたい」4 地域

# 関係人口プログラム設計ワークショップ

## 目的

- 関係人口の基本的な考え方や関係人口を創出することで地域にどのような変化が生まれるのかなどを学ぶ。
- 関係人口を創出するためのプログラムをどのように設計し実践すれば良いのか、そのポイントや具体的な手法を学ぶ。

日時：令和3年6月27日(日)13:30～16:30

場所：ユニゾンプラザ

参加者：5地域・8人

タイムスケジュール：

13:30～13:50	あいさつ・本日の流れ等説明等／自己紹介
13:50～14:10	講義「関係人口の考え方」
14:20～16:15	プログラム設計ワークショップ 講義「プログラム設計のポイント」／ワーク／共有・質疑応答
16:15～16:30	R3年度の関係人口プログラムの事業展開等について
16:30	終了



## 【成果・効果】

- KPI：5地域・団体→5地域・団体
- 各地域で今年度実施するプログラムの骨格が完成
- 関係人口プログラムの考え方等の共有

# マッチングイベント

## 目的

- 5地域で実施する関係人口プログラムの参加者確保
- 地域と農山村地域に興味がある県内の若者とのつながりづくり

日時：令和3年7月11日(日)13:30～15:30

開催方法：オンライン (zoom)

参加者：イベント20人、後日実施の個別マッチング8人

## タイムスケジュール：

- 13:30～13:45 あいさつ・趣旨説明、アイスブレイク等
- 13:45～14:05 イナカレッジの紹介、地域プログラムの概略紹介
- 14:05～15:25 各部屋に分かれての詳細説明、相談等
- 15:25～15:35 感想共有、今後の流れの説明、アンケート実施等

## 【成果・効果】

○KPI：50人→28人

○各地域で実施するプログラムの参加者確保

○参加者からは、地域のプレゼンテーションに対して、「地域の方たちの熱意が伝わった」「どの地域・プログラムも面白そう」など、一層興味が増したとする感想が多く聞かれた。



# 関係人口プログラムの実施

市町村	団体	プログラム	参加者	
関川村	谷人倶楽部	よそものが見たキラリと光る暮らしの風景をおさめる『ムラの日常フォトプロジェクト』	2人 県内在住者	今回の取組が報道に取り上げられたことで谷人倶楽部には地域内外から多くの問い合わせ（反響）があったほか、報告会には関川村長なども訪れ、関係人口の取組に対する地域の手応え、村役場を含めた成果の共有などが出来、次年度以降の関係人口の取組への意欲・取組体制の構築が図られた。
	イナカレッジ			
	関川村役場 総務政策課			
阿賀町	室谷青年会	地域を守る人たちの想いを紡ぐライティングプロジェクト	2人 県内在住者	本プログラムをきっかけに出来た関係性によって、阿賀町関係者と参加学生およびその友人が新潟市内で空き家のリノベーションの取組がスタートするなど本プログラム以外でも活動の輪が広がっている。
	阿賀まちづくり株式会社			
糸魚川市	根知みらい会議	新潟の秘境『奥阿賀の編集者となり阿賀町を発信せよ』	3人 県内・県外	企画段階から市役所との連携を図り、関係者打ち合わせ、活動当日などに市役所職員が毎回参加し、地域・行政・中間支援組織の三者による推進体制でプログラムを実施することができた。
	株式会社BASE968			
	糸魚川市企画定住課			
長岡市	城之丘集落	集落のつながりと暮らしの楽しさを見つける・伝える冊子づくりプロジェクト	4人 県内在住者	新型コロナの感染拡大によって、実施2週間前にプログラムが中止に。既に参加が決定していた学生に1回でも地域を見てほしいという住民の意向から、1日ツアーを開催。当日は集落を散策したり地域の方と交流したり、今後の関わりしろなどのアイデア出しを行い、集落の方にも好評を得た。
	市民協働ネットワーク長岡			
	長岡市和島支所			
上越市	櫛池農業振興会	新型コロナウィルス感染拡大によりプログラム中止		
	イナカレッジ			
	上越市自治・地域振興課			

# 関係人口プログラムの実施～新潟県関川村七ヶ谷地区

## よそものが見たキラリと光る暮らしの風景をおさめる『ムラの日常フォト プロジェクト』

### 【プログラム概要】

住民が改めて住んでいる地域の魅力を再確認するために、受入団体の谷人倶楽部では小冊子づくりに取り組むところである。その一環として外部の視点で地域を歩いたり、地域に暮らす人たちから話を聞いたり、農作業の手伝いなどをするなかで、地域外の若者がビビッと感じた“これ素敵だな”と思う場面を写真に収めるプログラム。

【参加者】2人（県内在住大学生） / 【受入】谷人倶楽部 / 【中間支援組織】にいがたイナカレッジ

日時	活動内容
8月28日(土)	オリエンテーション、地域案内、地域イベント手伝いなど
9月18日(土)	集落歩き・写真撮影など
9月26日(日)	集落歩き・写真撮影など
10月24日(日)	集落歩き・写真撮影など
11月13日(土)	集落歩き・写真撮影など
12月4日(土)	地域イベント手伝い
12月27日(月)	打ち合わせ（オンライン）
1月9日(日)・10日(月)	地域行事手伝い参加、活動報告会





# 地域内の話し合いの実施

市町村	団体	今年度の取組	次年度以降
南魚沼市	東地区地域づくり協議会	研修会の開催 地域内の話し合い	(東地区) 話し合いの継続 (浦佐地区) 関係人口プログラムの実践
	浦佐地域づくり協議会		
	イナカレッジ		
	南魚沼市U&Iときめき課		
出雲崎町	西越地区/地域おこし協力隊	関係者間の話し合い 関係人口プログラムの試行実施	関係人口プログラムの実践
	イナカレッジ		
	出雲崎町総務課		
長岡市	菅沼集落	地域内の話し合い	話し合いの継続
	イナカレッジ		
	長岡市越路支所		
	JA越後さんとう		
村上市	大毎集落	地域内の話し合い	関係人口プログラムの実践
	イナカレッジ		
	村上市山北支所		

## 【成果・効果】

○KPI：3地域・団体→5地域・団体

○いずれの地域も市町村事業として次年度に取組を継続

# マッチングイベント

## 目的

- R4年度以降も関係人口創出に向けた取り組みを行う地域・団体と農山村地域に興味のある若者との出会いの場を創出する。
- 関係人口に取り組む県内の地域・団体同士のネットワークづくり

日時：令和4年2月19日(土)13:30～15:30

開催方法：オンライン（zoom）

参加者：10人、地域：4地域・8人、その他地域・行政関係者：4人

タイムスケジュール：

13:30	開始・趣旨説明
13:40	関係人口取組報告（今年度実施した関係人口プログラム報告・ポイント共有）
14:10	参加地域の紹介
14:40	グループトーク進め方説明
14:45	地域毎にグループに分かれてのトーク
15:40	アンケート回答・閉会



## 【成果・効果】

○OKPI：50人→10人

○新型コロナの影響によりオンライン開催。

○参加地域からは「このような若者と知り合う機会を定期的作ってほしい」とする声が多数。

○参加者からは「面白い取組をしている地域・人と出会えた」「自分のやりたいことができそうな気がした」「こじんまりアットホームな雰囲気良かった」など。小規模であったが故に深く話げできたことで満足度が高いものとなった。

# 事業成果～当初設定したKPIの達成状況

	目 標	達成状況
1	<p>住民－行政が連携し、それを中間支援組織がサポートする関係人口の推進体制整備</p> <p>—R4年度以降も、地域・団体と市町村が連携し、それを中間支援組織がサポートしながら関係人口プログラムに取り組む実施体制が整備された地域・団体の数：<u>6地域・団体</u></p>	<p><b>6地域・団体</b></p> <p>関川村、糸魚川市、南魚沼市（2地域）、出雲崎町、村上市</p>
2	<p>関係人口創出に意欲ある地域・団体の掘り起こしとネットワークづくり</p> <p>①関係人口キックオフセミナー参加者：<u>50人</u></p> <p>②関係人口プログラム設計ワークショップ参加者：<u>5地域・団体</u></p>	<p>①（申込者数）<b>130人</b></p> <p>②<b>5地域・団体</b></p>
3	<p>地域と若者が直接つながるマッチングの場づくり</p> <p>①マッチングイベント参加者：<u>100人</u>（50人×2回）</p> <p>②若者と地域のマッチング件数：<u>20人</u>（上記参加者の1/5が実際に地域を訪れる）</p>	<p>①マッチングイベント等</p> <p>7月：<b>28人</b>／2月<b>10人</b></p> <p>②プログラム参加者：<b>22人</b></p>
4	<p>住民と行政が連携した関係人口創出の推進体制づくり</p> <p>①中間支援組織がサポートしながら、R3年度内に関係人口プログラムに取り組む地域・団体：<u>3地域・団体</u></p> <p>②中間支援組織がサポートしながら、R4年度に向けて関係人口プログラムの準備を進める地域・団体：<u>3地域・団体</u></p>	<p>①<b>5地域・団体</b></p> <p>②<b>5地域・団体</b></p>

## ○関係人口創出に意欲的な地域の掘り起こしとネットワーク

→6月に開催した「関係人口キックオフセミナー」参加者アンケートによって、関係人口の取組意向のある県内地域の掘り起こしが図られた。

## ○R4年度以降の市町村のサポート体制の確保

→市町村等を巻き込みながら関係人口プログラムの実践、地域内での話し合いなど具体的なアクションを行い、その一連のプロセスや取組成果を市町村担当者と共有できたことで、予算措置を含めた市町村のサポート体制が構築できた。

## ○県内中間支援組織とのノウハウ共有と連携体制の構築

→プログラム設計ワークショップへの参加、関係人口プログラムの実践を通してOJT的な要素もあり、関係人口の考え方やプログラムを実践する上で抑えておくべきポイント、取組の成果などを共有することができ、次年度以降も関係人口プログラムを実践する上でのパートナーになり得る存在となった。

## ○イナカレッジへの相談の増加

→県外の行政機関からの問い合わせや視察、また県内複数の大学からの相談など、関係人口に関わるイナカレッジへの問い合わせ・相談が増えた。特に今年度実施した「関係人口プログラム設計ワークショップ」は、県外自治体から実施依頼が寄せられた。

## 今年度の課題

---

### ○一人ひとりのニーズに応じたオンラインによるきめ細かなマッチング

→個々に深く話がしにくいオンラインで、いかにきめ細かな対応が図れるか。

### ○農山村に興味のある若者とのつながりの強化

→イナカレッジコミュニティの強化

### ○コロナ禍での関係人口プログラムの実践

→実際に地域に訪問できない間の関係性・モチベーションの維持

### ○関係人口の取組をスタートさせるための地域の話し合い

→関係人口は地域づくりの手段であり、目的から整理すると話し合いに時間がかかる。

## 今後の事業のあり方

---

○今年度の取組を通じて予算措置も含めた行政のバックアップ体制が整備されたため、引き続き市町村と連携しながら関係人口創出に向けた活動を行っていく予定。

○もう一方で、農山村に興味がある若者へのコンタクトを強化し、イナカレッジが有する県内学生を中心とする若者コミュニティを拡張・強化するための方策も併せて取り組むこととしたい。

# 自立化・自走化の検討

## 体制

地域×行政×中間支援組織（コーディネーター）

## 費用

## 効果の可視化

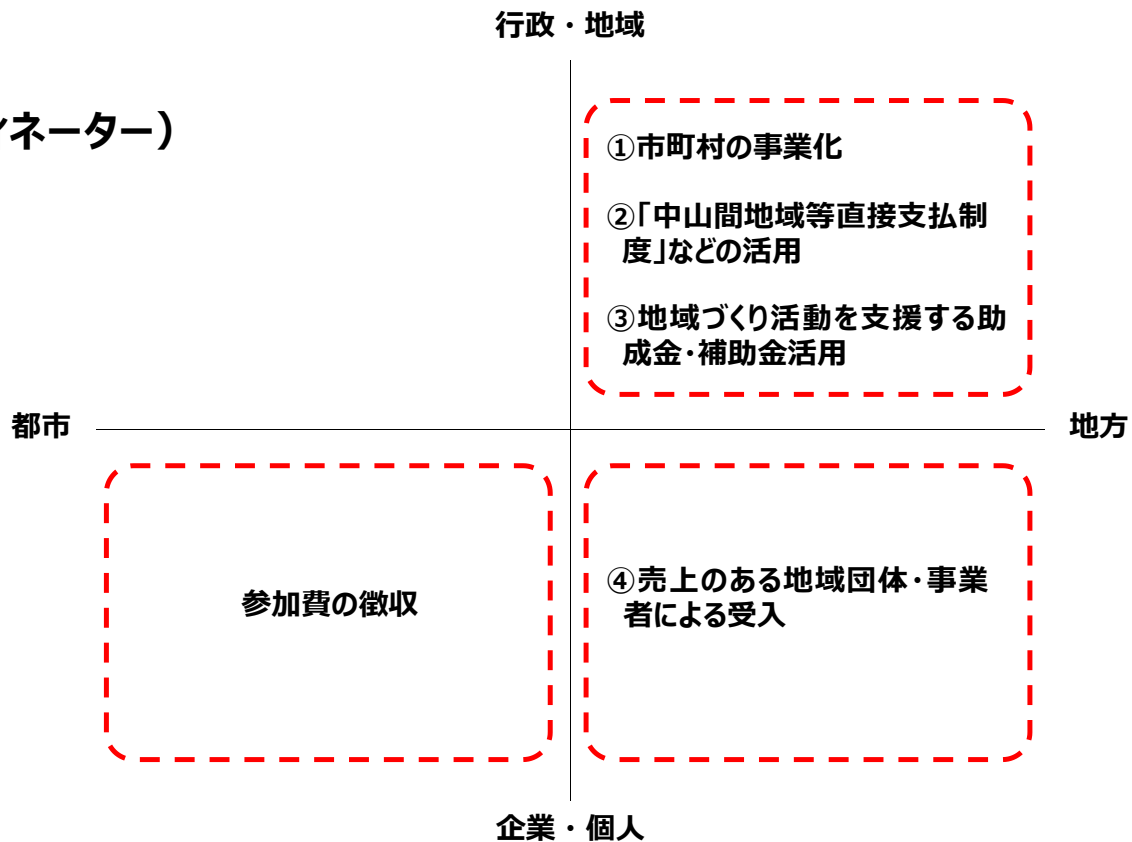
### 【直接的な効果】

各地域で設定したテーマ（ゴール）が達成したことで出来る成果物。

### 【副次的な効果】

よそ者が地域の人を巻き込みながら活動することで起こる地域内の前向きな変化。

このような副次的な効果こそが、よそ者を受け入れる最大の価値。しかし、このような変化は主観的であり評価が数値化しにくいもの。関係人口の価値の可視化については、「かかわりラボ」など全国の関係人口を実践する関係者や研究者間での議論の深化を望みたい。



## 他地域への横展開の可能性の検討

- ◇令和3年度秋から他県でも地域主体の関係人口創出プログラム支援（他地域への横展開）をスタート。
- ◇具体的には、関係人口プログラム設計ワークショップの開催などを通じて、関係人口の考え方やその手法、プログラム設計や実施するうえでのポイントなどを共有し、関係人口プログラムをコーディネートする中間支援組織を育成。
- ◇同時に実際に具体的なプログラムを実践し、「地域・行政・中間支援組織」の三位一体の推進体制を整備。
- ◇併せて関係人口の取組を持続的に取り組むためのマネタイズの仕組みを検討。